



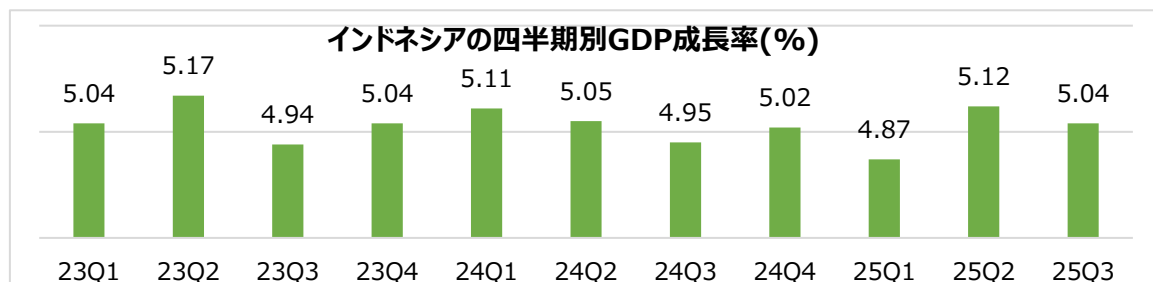
<インドネシア・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

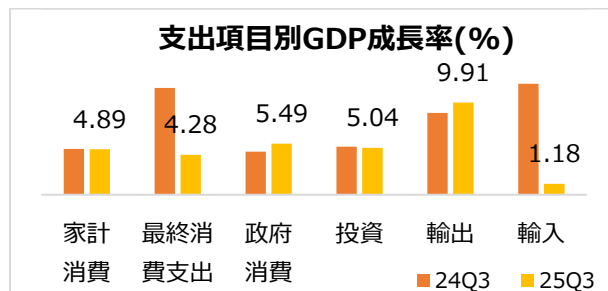
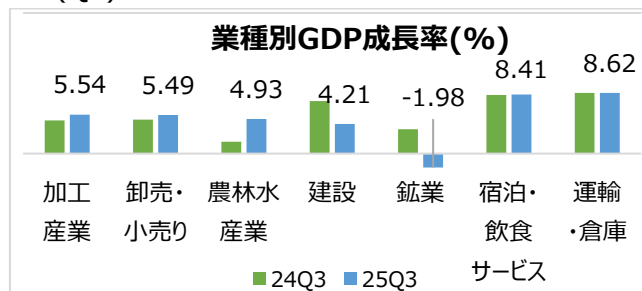
2025 年 11 月 17 日

第 3 四半期の GDP 成長率は 5.04%と安定的

インドネシアの中央統計局(BPS)報告によれば、2025 年第 3 四半期(Q3)の実質国内総生産(GDP)成長率は前年同期比 5.04%となり、安定した成長を示した。2025 年 1～9 月期の GDP 成長率は 5.01%で、世界経済の変動が大きい環境下にあっても同国は安定した成長を維持している。



Q3における成長の主な牽引役は輸出と観光業である。商品・サービスの輸出は前年同期比 9.9%増となり、仕向け先市場での需要回復と製造業における付加価値向上がその背景となっている。2025 年 1～9 月期の旅行者数では、国内旅行者が前年同期比 19.0%、外国人旅行者が同 10.2%増加し経済を支えた。しかしながら、GDP 構成比で 5 割強を占める家計消費の成長率は前年同期比 4.89%と、第 2 四半期(Q2)の同 4.97%から若干鈍化した。



出所(3 グラフとも)：インドネシア中央統計局(BPS)

通年の見通しについて、インドネシア政府では 5.3%の成長率目標を掲げているが、世界銀行では 4.8%、IMF では 4.9%と、より控えめな予測を示している。国内消費が一段と成長しない限り、政府目標の達成は難しいとの見方である。

インドネシア政府では 2025 年度の景気刺激策の第 4 弾として、低所得層向けの現金給付プログラムとは別に、3,505 万世帯向けの現金直接支援や、大学新卒者向けに企業や政府機関での就業経験を提供するインターンシップなどを実施する方針であることが報じられている。現時点でも、インドネシア経済は堅調な成長を続けており、東南アジアで最も活力のある経済国の位置を維持している。

以上

免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。